

地方創生交付金【推進交付金】 令和3年度事業 実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標	目標値(R4.3)	実績値(R4.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
1	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シニアプロモーション事業 (基本目標: Ⅲひとを呼び込み活力創生)	『恋人の聖地』を有する市町村のうち、広域連携によるデジタル・シニアプロモーションによる地方創生事業に賛同する18市町村が連携し、次の事業を実施する。 (1-1) 広域市町村連携シニアプロモーション事業(SNS等の活用のためのポータルサイト等の基盤整備事業) 18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備する。 (1-2) 各市町村の連携シニアプロモーション事業 参画市町村は独自のシニアプロモーションを実施し、18市町村が連携を図る。 (2) 地域産業拡大事業 各市町村域(農林水産・観光)のデジタル情報価値(バリエーション・魅力)を高めるとともに、ソフト系コンテンツを開発する。各市町村がモニュメント整備、回遊プラン整備、イベント等を通して恋人の聖地をはじめとする地域の魅力を向上させる。 (3) 情報ネットワーク・地域活性化事業 デジタル・シニアプロモーション事業部会設立による市町村間の実施事業の共有、連携プロモーション等の実施とともに、各地域において事業者・市民・学生も巻き込んだ「地方創生」を実現するための啓発事業を実施する。 ・参画市町村連携「地方創生」リモートワークショップ等の開催(啓発・連携構築) (4) 市町村のブランド強化・収益構築のハード事業	① SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業 【負担金】 2,500,000円 (1) 共同PR・プロモーション事業 (2) プラットフォーム企画展開事業 (3) ポータルサイト基盤事業 (4) 事務局・部会等運営費 ② 広域市町村連携シニアプロモーション事業 1,729,850円 ③ 地域産業拡大事業 【委託料】 300,000円 (1) 特産品「恋人の聖地」ブランド新商品開発事業委託費 ④ 情報ネットワーク・地域活性化事業 4,874,466円 (1) ICTを活用した配信・啓発・連携事業費 ⑤ 「恋人の聖地」市町村のブランド強化・収益構築事業費 【ハード】 697,614円 (1) 駐車場電気配線工事 (2) RVパークsmart機器設置工事	推進	20,203,862円	10,101,930円	指標① 観光入込数【R3増加分】	117,000人	112,451人	本年目の目標を達成できなかった	事業の継続	目標を達成しなかった指標があるものの、連携事業全体ではKPIを達成している。今後は、SNS等による情報発信、雑誌・メディア掲載、著名人とのコラボ等を絡め、さらに全国18の参画市町村と広域連携も図りながら、さらなる誘客促進に取り組む。	本年目の目標を達成できなかった	商工観光課
2	国東半島の鬼などの文化資源を活かした地域の賑わい創出事業 (基本目標: Ⅱひとを大事に活力創生)	① 企画する個人旅行を造成するために必要なガイド・体験プログラムのインストラクターの育成を行い、同じ戦略の下で、旅行運営を実施するための準備を行う。 ② 豊重点地区を富来・武蔵・長岩屋谷と定めた地域産品のブランディングを行う。具体的な手法としては、商品開発・パッケージデザイン・ブランディングのためのストーリー作成などを行う。 ③ 国東半島で行われるスポーツ・文化などの競技を「鬼んびつ」に位置付け、エリア内外に強気に鬼のPRを行う。今後鬼んびつを定期的に実施するためのデジタル素材などを作成する。 また、オリンピックイヤーに定期的に実施したいと考えており、鬼んびつオフィシャルパートナーなどの寄附事業も呼びかける。 ④ 豊後高田市香々地、国東市国見町に残る平安時代の刀匠・紀行平の鬼伝説に関連する文化資源を活用するためのシンポジウムを開催し、普及啓発を行う。 【事業期間: 令和3年度～令和5年度】 【地域再生計画: 令和3年度～令和5年度】	① くにさきガイド育成・戦略共有事業 【委託料】 800,000円 (1) リトリートツーリズムガイド育成・戦略共有業務 (2) 食とアクティビティPR動画制作業務 ② 谷のブランディング・商品開発事業 【委託料】 750,000円 (1) うにとマテ貝を使った醤油の開発 (2) 豊後高田そばのガレット粉の開発 (3) かぼすを使った生七味の開発 (4) 鬼棚(鬼灯新パッケージ)の開発 (5) ジビエパッケージの開発、パッケージデザイン ③ 「鬼んびつ」情報発信事業 714,475円 (1) プロモーションのためのデジタル宣材デザイン作成 (2) ポスター印刷及び幟など制作 (3) メダル・エンブレムデザイン競技の運営 チラシ印刷 (4) メダル・エンブレムデザイン競技の運営 選定委員報償 (5) PR宣伝費用(SNS・雑誌) ④ シンポジウムによる情報発信事業 実績なし	推進	6,500,000円	2,264,475円	指標① 六郷満山日本遺産推進協議会の収益事業(体験プログラム運営、物販事業、寄附事業など)による売上(事業開始前: 1,200千円)	2,200千円	1,469千円	本年目の目標を達成できなかった	事業の継続	目標を達成しなかった指標があるものの、各項目で過去最多にはなっており、令和3年度に開発した特産品の販売実績が、令和4年度以降から発生してくるなど、更なる増加が見込まれるため。	本年目の目標を達成できなかった	文化財室
3	「地域で健康づくり」応援事業 (基本目標: Ⅱひとを大事に活力創生)	行政や社協等の関係機関が、認知症予防に効果的な運動メニュー等をサロン活動の中で実践することにより、サロン活動の機会の増加と、地域ぐるみの健康づくりの機運を醸成するとともに、広く認知症予防に関する知識の普及啓発を図る。 ① 専門機関(千嶋病院)へ「あたまを使った運動プログラム」の普及員となる運動推進員の養成を委託 ② 認知症予防に効果のある運動以外のメニュー(口腔ケア・回想法・栄養)を専門職のいる社協に委託 ③ サロン参加者の身体状況を把握するため、あたまの健康チェック、フレイルチェック(アンケート)を実施 ④ サロン内で活動した運動推進員に対する謝金及び活動に伴う傷害保険料を負担 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	① 運動推進員の養成事業 22,500円 (1) 運動推進員の養成及びスキルアップにかかる経費 ② 運動推進員の効率的な運用事業 99,550円 (1) TMKチャレンジクラブによる運動推進員の巡回指導 ③ 運動の習慣化チェック 72,442円 (1) 運動推進員に対する謝礼 (2) ボランティア保険料 (3) 習慣化チェック等に係る公用車ガソリン代 ④ 関係機関との連携事業 668,800円 (1) 社協による口腔ケア等運動以外のメニューの実践 (2) TMKによる専門的な運動の実施 ⑤ 効果測定・結果に基づくアプローチ 232,165円 (1) 健康チェックにかかる経費	推進	2,190,915円	1,095,457円	指標① 養成された運動推進員数(事業開始前: 9人)	10人	12人	本年目の目標を達成できなかった	事業の継続	参加者の大多数が高齢者ということから、コロナ禍の影響を強く受け、目標達成できなかった指標があるものの、興味を示すサロンが増えるなど、一定以上の浸透は進んでいると考えられることから、引き続き、感染予防に留意しながら推進を図りたい	本年目の目標を達成できなかった	社会福祉課

地方創生交付金【推進交付金】 令和3年度事業 実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課	
							指標	目標値(R4.3)	実績値(R4.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由			
4	働きやすさ改革によるしごと創出事業 (基本目標:Ⅳ仕事をつくり活力創生)	<p>最重要施策である定住人口の増加を図るため、女性や障がい者、高齢者など誰もが働きやすい環境整備を行い、新たな就業、雇用の創出を図る。</p> <p>①ITを活用した女性の雇用創出を図るため、女性雇用を促進している企業へのPR動画の作成を委託</p> <p>②通勤が困難である障がい者の送迎事業に対する広報費や運営費を補助</p> <p>③高校生対象の市内事業所見学会の開催費を補助</p> <p>④外国人が入居できるアパートの改修費用を補助</p> <p>【事業期間:令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画:令和2年度～令和4年度】</p>	<p>①ITを活用したお母さんが働きやすいしごとの創出事業 【委託料】 450,000円 (1)本市の住みやすさ、子育てしやすさ、働きやすさの魅力発信動画作成</p> <p>②障がい者の自立支援に向けた働きやすさ改革事業 【負担金】 225,000円 (1)障がい者送迎事業運転事務経費</p> <p>③高校、短期大学、大学生の地元就職の促進事業 【負担金】 9,250円 (1)工場見学会開催費用</p>	推進	1,368,500円	684,250円	指標①	子育て世代の女性の就業率 (事業開始前:77.8%)	79.8%	84.5%	本年度の目標を達成できなかった	事業の継続	女性や障がい者、高校卒業生などに対する多様な働く場を創出するため、引き続き、雇用の創出に必要な環境整備を図る。	本年度の目標を達成できなかった	商工観光課
指標②	障がい者の新規事業所就職者数 (事業開始前:0人)	2人	1人												
指標③	地元高校生の市内就職者数(事業開始前:13人)	15人	14人												
5	豊後高田昭和の町リブランディング事業～次代へつなぐまちづくり～ (基本目標:Ⅲひとを呼び込み活力創生)	<p>①誕生20周年という節目の年を迎えた「豊後高田昭和の町」において、新たな人の流れを創出するため、時代と顧客のニーズに呼応した「昭和の町」ブランドの再構築を目指したビジョンとコンセプトを決定し、次の20年に向けた計画書を策定</p> <p>②昭和の町の商店街の振興と、新たな魅力を創出するため、定期的な夜市イベント(夜台市)を開催</p> <p>③「ニューレトロ」をキーワードにしたワークショップを開催し、SNSを活用した情報発信や若者への訴求に関する様々な手法を構築。また、SNS及び各広告媒体を活用した情報発信を実施</p> <p>④商店街の回遊性と魅力を高めるため、玉津商店街の街路アートペイントのリニューアルを実施</p> <p>【事業期間:令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画:令和2年度～令和4年度】</p>	<p>①昭和の町リブランディング計画実施支援事業 【委託料】 1,537,800円 (1)商店を対象としたワークショップの開催 (2)昭和の町オリジナルロゴ・お土産グッズの開発 (3)インスタグラム等のSNSビジュアル発信</p> <p>②昭和の町ブランド向上イベント促進事業 【委託料】 4,131,072円 (1)昭和の町誕生20周年イベント(年5回) 【負担金】 118,802円 (1)昭和の町商店街振興支援イベント(年5回)</p> <p>③昭和の町誘客促進プロモーション事業 【委託料】 3,157,330円 (1)SNS及び広告媒体等を活用した情報発信 (2)昭和の町誕生20周年記念冊子制作による情報発信 【役員費】 295,212円 (1)都市圏での誘客プロモーション</p> <p>④昭和の町商店街魅力向上整備事業 【委託料】 2,491,500円</p>	推進	23,463,432円	11,731,716円	指標①	昭和の町年間来街者数 (事業開始前:376,000人)	396,000人	177,296	本年度の目標を達成できなかった	事業の継続	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたことにより非常に厳しい状況であるが、昭和の町リブランディング計画を着実に実行するとともに、都市圏の若者を中心に起きているニューレトロブームを追い風に、昭和の町のブラッシュアップを行うこと、また、インバウンドの再会にあわせて、新たな価値の創造とターゲットに向けて効果的な情報発信により、アフターコロナを見据えた事業展開を図る。	本年度の目標を達成できなかった	商工観光課
指標②	昭和ロマン蔵有施設入館者数 (事業開始前:53,000人)	55,700人	29,208人												
指標③	インバウンド団体ツアーの客数 (事業開始前:10,000人)	13,000人	0人												
指標④	昭和の町滞在時間 (事業開始前:99.6分)	116.6分	103.2分												
6	外国人材の活用による明日につながる共生社会創造事業 (基本目標:Ⅲひとを呼び込み活力創生) (基本目標:Ⅳ仕事をつくり活力創生)	<p>市内誘致企業の外国人材の受入れニーズが高まっている中、有能な外国人材を受け入れることにより「市内産業の労働力不足の解消」と「観光・インバウンド需要の取込」を行い、地域経済の持続的発展と交流人口の増加を図る。</p> <p>①外国人労働者の支援やインバウンドの誘客促進を図るため、語学が堪能な外国人を雇用</p> <p>②語学教室の開催費や外国人の労働・生活相談等が受けられる環境整備に対する費用を補助</p> <p>③地域と外国人との交流促進を図るため、国際交流イベントの開催費を補助</p> <p>【事業期間:令和元年度～令和3年度】 【地域再生計画:令和元年度～令和3年度】</p>	<p>①外国人材活用事業 (1)技能実習生及び新在留資格者支援業務 【賃金】 1,495,012円 【共済費】 242,695円 (2)インバウンド誘客促進業務 【賃金】 1,495,012円 【共済費】 229,167円</p> <p>②受入環境整備事業 (1)外国人向け語学教室開催 【負担金】 17,949円 (2)日本人向け外国語教室開催 【負担金】 32,386円 (3)日本語弁論大会・外国語弁論大会の開催 実績なし</p> <p>③国際交流促進事業 (1)交流拠点施設賃借料 【負担金】 600,440円 (2)文化交流事業費 【負担金】 24,919円</p>	推進	8,275,161円	4,137,580円	指標①	外国人材活用により労働力不足が解消した事業者数	30社	24社	本年度の目標を達成できなかった	事業の継続	新型コロナ感染症の影響で、国による水際対策等の徹底により、外国人観光客や外国人労働者が入国できず、目標値を達成することができなかったが、R4.11月時点では入国制限も緩和されており、指標①・指標④については、目標値を達成することができた。今後も本事業を継続して、外国人の受入体制を整備していきたい。	本年度の目標を達成できなかった	商工観光課
指標②	市内外国人観光入込客数	15,800人	0人												
指標③	日本人向け外国語教室参加者数	30人	32人												
指標④	事業協同組合を通じた就業者数	80人	76人												